

<取材のお願い>

2022年8月16日

広島大学

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

4 カ国の混合学生チームが瀬戸内海島嶼部の課題解決に挑戦 ～広島大学が環境保全型農業と地域振興のための国際共同研究～

広島大学大学院先進理工系科学研究科では8月22日(月)～8月28日(日)、トリブバン大学(ネパール)、バーラ技術科学大学ピラニ校(インド)、テキサス大学オースティン校(アメリカ合衆国)から、大学院生12名、教員3名、計15名を招き、広島大学の学生と共に瀬戸内海島嶼部エリアの環境保全型農業や地域振興をテーマに研修を行います。

本研修は講義やグループワークだけでなく、実際に現地を訪問し、瀬戸内海島嶼部の住民や農家のみなさんと直接対話をする中で、同地域が直面している深刻な過疎化や高齢化と人口減少に端を発する様々な問題や、自然資源の持続的な利用などについて学びます。そして、資源管理や農村開発だけでなく、公共政策や環境政策、化学工学、昆虫学など様々な分野の学生が、国際的なチームを組み、彼らならではの国際的アプローチで、持続的な地域コミュニティの実現に向けて解決策の提案に挑戦します。また、本研修の後半では広島の実爆ドームや平和公園、宮島・厳島神社を訪問し、広島での平和の取り組みや世界遺産について学びます。

本研究科は、10年以上にわたって、さまざまな条件が不利な国内外の地域が抱える課題の解決に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。本研修は科学技術振興機構(JST)主催の「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)」*に採択されたもので、2021年度に実施した小規模農家の気候変動対策についてのオンラインでの研修を、さらに発展させたものです。日本の技術や政策についての理解を促し、帰国後もオンラインを活用した学術交流を継続して共同研究へと発展させることを計画しています。参加学生には、本研修で学んだ環境保全型農業や広島での平和への取り組みを、自らの研究の発展や自国の発展に繋げていってくれることを期待しています。

つきましてはご多忙中とは存じますが、グループワークや小規模農家の方々との交流、広島での研修の様子などを取材して頂きたくお願い申し上げます。なお、取材ご希望の方はお手数ですが、担当者までご連絡頂ければ幸いです。

【実施内容】

●講義とグループワーク

・日本の農業政策 ・農村調査法 ・自然資源の保全と管理

●瀬戸内海島嶼部等で環境保全型農業に取り組む小規模農家、自治体や地域コミュニティへのインタビュー調査をすることで、過疎地域が直面する技術的、社会的課題についての洞察を深める。

●文化体験、平和学習として、宮島・厳島神社、平和記念資料館、平和記念公園、原爆ドームを訪問し、広島への理解を深める

【研修日程概要】

8月22日（月）オリエンテーション

8月23日（火）午前 農業政策、地域振興、観光開発、自然資源の保全と管理に関する講義
午後 農村調査法、グループワーク／意見交換会

8月24日（水）終日 持続的農業経営、環境保全型農業に関する講義と現地視察

8月25日（木）終日 下蒲刈現地訪問：農協・小規模農家へのインタビュー調査

8月26日（金）午前 下蒲刈現地訪問：地域住民、移住者等へのインタビュー調査
午後 グループワーク

8月27日（土）午前 宮島・厳島神社訪問

午後 平和記念資料館、平和記念公園、原爆ドーム、平和記念公園訪問

8月28日（日）午前 学生発表会修了式

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

広島大学 [redacted] 電話：0 [redacted]

Eメール： [redacted]

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

電話：0 [redacted] Eメール： [redacted] （担当：田中(禎)、太田）